

日本中世英語英文学会主催「第十二回研究助成セミナー」案内

研究助成セミナーは、特に若い研究者の皆さんが中世英語英文学の研究を進める上で助けとなるように、日ごろ接する機会の少ない他大学の方々と一緒に、様々なテーマについて学べる場を提供する意図で毎年開催されています。本年は写本や初期印刷本についてのワークショップを以下の要領で開催いたします。多くの会員の皆さんの参加をお待ちしております。

- ・ **タイトル：** Mystery and Mirth in Manuscript and Incunabula Studies
- ・ **講師：** Professor Graham Caie (Univ. of Glasgow), 高宮 利行名誉教授 (慶應義塾大学),
- ・ **目的：** 内外の図書館で、写本および初期揺籃本を調査するのに必要な知識とともに、図書館を利用する際の実践的な問題についても、教授する。
- ・ **日にち：** 平成24年12月8・9日
- ・ **場所：** 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館4F セミナールーム。
- ・ **内容：** 講義+演習で次のように行います。

日	時間	担当	内容
12月8日	10:30-12:00	Caie 教授	Palaeography 1
	13:30-15:00	高宮教授	Codicology
	15:30-17:00	Caie 教授	Palaeography 2
12月9日	10:30-12:00	高宮教授	How to use rare-book libraries
	13:30-15:00	全員	まとめ・質疑応答

- ・ **定員：** 20名前後
- ・ **言語：** Professor Caie=英語、 高宮教授=日本語

※参加理由書：この研究助成セミナーでは、実際の写本を扱うため、参加人数を制限します。このため、参加理由書を提出頂き、スクリーニングします。理由書には、具体的にいつ頃、どの写本をどのように研究する予定かを200字程度で記して下さい。さらに、1) 中世写本、初期印刷本を直接調べた経験はあるか、2) 古写本学、古書体学、書誌学、書物史を学んだことはあるか。ある場合はいつ、どこで、いかに、3) このセミナーに期待するもの（一般的でも具体的でも）、についてもご記入ください。

※参加補助金：学会に所属する大学院生および常勤職を持たない若手研究者の方には旅費・宿泊費の一部（片道分の交通費+5000円の宿泊費）が参加補助金として支給されます。

参加希望の方は、氏名、連絡先（住所、電話、e-mail アドレス）、学生及び非常勤の方で補助金をご希望の方はその旨をお書きのうえ、添付ファイルの参加理由書とともに、「第12回研究助成セミナー参加希望」というタイトルを付けて、下記へe-mailにて、**10月30日(火) (必着)**までに、お申し込み下さい。なお、メールを受領した際には返信メールをお送りしますので、返信メールがない場合は、再度メールをお送りください。スクリーニング結果は11月初旬にメールにてお知らせします。

連絡先：〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1
兵庫教育大学 谷 明信
tani< at >hyogo-u.ac.jp (Tel/Fax: 0794-44-2087)